OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	センター開発のTSSコマンド一覧
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1983, 49, p. 66-76
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65565
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

センター開発のＴＳＳコマンド一覧

今までにセンターニュース、速報で広報されたセンター開発のコマンドを一覧いたします。この中には他機関より譲り受けたコマンドも含まれています。

(1)　図形処理関係

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機　　能
$VIEW			ＸＹプロッターの作図データファイルの内容を解析しグラフィック端末に出力します。
	INPUT＝ KADAI BANGO／ FILENAME？	課題番号／ファイル名	利用者の課題番号とファイル名。
	KASO WINDO＝ XMIN, YMIN, XMAX, YMAX？	実画面の大きさ	利用者プログラムの最小値と最大値。　（単位：cm）
	HYOJI WINDO＝ IXMIN, IYMIN IXMAX, IYMAX？	グラフィック 画面の大きさ	グラフィック管面の最小値と最大値。　（単位：ドット）
	DEMAND FILE	Y	作図ジョブを起動させる。
	WRITE Y OR N?	N	$VIEWを終了させる。

(2) 言語関係

コマンド	機能
$L1.9	LISP／1.9サブシステムを呼び出す。 詳細については電子技術総合研究所のLISP USER'S MANUALを参照されたい。
$WEST	構造的言語Westranのプログラムをコンパイルし、実行する。 （FORTRANサブシステムにおけるRUNコマンドを相当している。） 詳細については、センターニュースNo.，34（1979−8）の“Westranについて”を参照されたい。
$XXPL	言語処理プログラムの作成に便利な言語XXPLのプログラムをコンパイルし、実行する。 詳細については、センターニュースNo.，38（1980−8）の“プログラミング言語XXPLの紹介”を参照されたい。

(3) 8080用クロスアセンブラ

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
$CA8080	〔{ソース・ファイル} ,{マクロ・ファイル} ,{ソース・リスト} ,{オブジェクト・プログラム}〕	ソース・ファイル：マイクロコンピューターのアセンブラー・プログラムの入っているファイル，＊または省略時はカレントファイル。 マクロ・ファイル：マクロ・プログラムの入っているファイル。Nまたは省略時は使用しない。 ソース・リスト：アセンブルリストの出力ファイル。Nを指定すると出力しない。省略時は端末。 オブジェクト・プログラム：機械語の出力ファイル。Tを指定すると端末の紙テープに出力される。 Nは省略時は出力しない。	8080系の78種類の命令使用して記述されたソースプログラムを入力してアセンブルし、機械語コードに交換してオブジェクトプログラムを作成する。 詳しくは、センターニュースのNo.35（1979−11）の“マイクロコンピュータ8080用クロスアセンブラーについて”を参照されたい。

(4) センターのお知らせ・システム状況表示等

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
$NEWS	␣n	n：ニュース番号nのみを端末に出力する。	センターのお知らせを端末に出力する。
問答形式	ENTER NEWS	n	ニュース番号を指示する。
	NUMBER (X)	(CR)キー	$NEWSコマンドを終了する。
$SCHED			システムの処理状況を端末に出力する。
$DSNUMB			センターのカード読取装置、リモート端末、TSS端末（CARDINサブシステム）より投入されたジョブの状態を端末に表示する。

(5) パーマネントファイルの内容を表示

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
$FLIST	␣ファイル名␣〔W=n, S〕	ファイル名：端末に出力するファイル n：出力する行数。 S：ファイル出力する休止時間（秒単位）。	パーマネントファイルの内容を端末に出力する。 FORTRANプログラムで機番6・42の出力をパーマネントファイルに出力させて、そのファイルの内容を出力させる場合には、改行指定に従って端末に出力する。
問答形式	※QUIT IS ACCEPT (RES, END, SKP)?	RES	出力一時停止後の再出力を指示する
		END	出力一時停止後、$FLISTコマンドの終了を指示する。
		SKP	出力一時停止後の出方スキップを指示する。
	SKIP RECORD INPUT ?	N	出力スキップの数を指示する。指示した数の行数分が飛ばされて出力が継続される。なお、その指示できる数は7桁以内の数。

※ 端末に出力中に BREAK キーを押すことによりこの質問がある。

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機　　能
$FPRINT ($FPRI)	␣ファイル名 〔;ファイル名〕…	ファイル名：出力するファイル名	パーマネントファイルの内容をセンターのラインプリンタに出力する。このコマンドで扱えるファイルはＦＲＣ形式順編成ファイル
問答形式	SEND BY MAIL (YES OR NO) ?	YES	センターのラインプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は連絡所へ送られる。
		NO	ファイルの内容はデマンドファイルへ出力される。ＩＤカードを用いてラインプリンタへの出力要求を行う。
	JOB CLASS (E,A,B,C) ?	E A B C	ファイル内容の出力量に応じたジョブクラスを指定する。
$FPRINTH ($FPRIH)	$FPRINTと同一	$FPRINTと同一	パーマネントファイルの内容を圧縮してセンターのラインプリンタに出力する。なお、ラインプリンタイメージファイルは圧縮されません。
$FPRINTR ($FPRIR)	$FPRINTと同一	$FPRINTと同一	パーマネントファイルの内容を端末（リモート端末も含む）へ出力する。
問答形式	TERMINAL LID INPUT?		出力先の端末ＩＤ（２字）を指定する。
	JOB CLASS (E,A,B,C) ?	$FPRINTと同一	
$FPRINTHR ($FPRIHR)	$FPRINTと同一	$FPRINTと同一	パーマネントファイルの内容を圧縮して端末へ出力する。なお、ラインプリンタイメージファイルは圧縮されません。
	TERMINAL LID INPUT?	$FPRINTRと同一	
	JOB CLASS (E,A,B,C) ?		

(7) プログラムを見やすくするためのコマンド

コマンド	パロメーターの形式	パロメーターの意見	機能
$FORM			NFORM形式のカレントファイル（＊SRC）をFORM形式に再編する。NEWP／OLDPコマンドで作成したカレントファイルでないこと。入力レコード長は、行番号の直後を第1カラムとすれば；80カラムまで処理される。1プログラム単位中の文番号の個数は最大400。
$FORM	n	n：段下りの単位を指定する	FORM形式のカレントファイル再編集する。入力レコード長は、行番号の直後を第1カラムとすれば、72カラムまで処理される。その他は、同上。 「ＴＳＳの手引」昭和57年6月発行の145頁～148頁を参照して下さい。 ※プログラムによっては、コメント行が入る場合がある。
$FRESE ※	␣〔m,n,m¹,n¹〕	m：文番号（FORMAT以外）の初期値。省略値は10。 n：文番号（FORMAT文以外）の増分。省略値は10。 m¹：FORMAT文の文番号の初期値。省略値は1000。 n¹：FORMAT文の文番号の増分。省略値は100。	カレントファイル（＊SRC）内のFORTRANプログラム（文法誤りのないもの）の文番号を指定された初期値と増分に基き昇順化された文番号に置き換える。 詳しい説明は、「ＴＳＳの手引」昭和57年6月発行の149頁～150頁を参照して下さい。

※ $FRESEでは、多重文の解析はできない。また、扱えるファイルは、NFORM形式か、LNO有りで、ソースプログラムのステップ数が5000以内、行き先番号の延べ数2000以内であること。$FRESEコマンド実行後、$FORMコマンドを実行すると、“NO END STATEMENT FOUND”が表示される場合があるが、実行には支障はない。

(8) ＴＳＳとの会話の状況を記録するコマンド

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機　　能
$HIST	なし		このコマンド入力以降のシステムと会話している状況を記録する状態にする。
$HIST	OFF		「$HIST」を入力以降の会話の記録を指定されたファイルに出力する。なお、指定されたファイルがパーマネントファイルとして用意されていない時はテンポラリーファイル扱いとしてファイルがつくられる。テンポラリーファイルは、REMOVEコマンドまたは、BYEコマンドを入力すると会話の記録が消去されますので、保存する必要がある場合は、PERMコマンドでパーマネントファイルにコピーして下さい。
問答形式	FILE NAME?	{ファイル名 / ＊} 〔; INC / EXC〕 ファイル名：パーマネントファイルまたは、テンポラリーファイル ：カレントファイル INC：会話の記録がすべて出力される。また「INC」「EXC」を省略した時は「INC」を指定したものとみなされる。 EXC：システムからの出力内容のみをファイルに出力する。	

(9) 計算機の利用状況・利用明細書の出力を行うコマンド

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機　　能
$KAKIN	80 / 132	$KAKIN 80 $KAKIN 132	計算機利用状況表・利用明細書を80桁、132桁で出力する。 省略時は80桁になります。

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機　　能
$FPRINTJ ($FPRIJ)	$FPRINTと同一	$FPRINTと同一	パーマネントファイルの内容をセンターのページプリンタ（漢字の出力可）に出力する。 このコマンドで扱えるファイルはＦＲＣ形式順編成ファイル。
問答形式	FORMSET?	(CR) または [復帰]	「NORMAL」の書式がセットされる。漢字を出力しない場合は「NORMAL」を指定する。
		書式名：センターに登録されている書式名	書式に従ってファイルの内容がページプリンタに出力される。
		?	システムに登録されている。 書式の一覧が端末に表示される。
		?書式名	指定された書式で出力できる一行の文字数及び扱える活字の大きさの説明が端末に表示される。
	SEND BY MAIL (YES OR NO) ?	YES	センターのページプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は連絡所へ送られる。
		NO	センターのページプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は返却棚に返却される。
	JOB CLASS (E,A,B,C) ?	$FPRINTと同一	

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
$DMP	␣ファイル名	ファイル名：端末に表示したいファイル名（順編成ファイルに限る）	端末にファイルの内容を出力する。 ①カード出力形式のファイル ②ＴＳＳ／バッチ処理で作成されたファイル ③ＪＩＳ・ＢＣＤ混在ファイル（制御文字はスペースで表示）
問答形式	FUNCTION？	PRINT␣ALL	全ファイルの内容を端末に出力する。
		PRINT	「BLOCK TO BE READ？」のメッセージが表示される。
		END	ＤＭＰを終了させる。又は、キャリッジリターン。
	BLOCK TO BE READ？	n	入力ファイルのブロックシリアル番号を１０進数で入力する。ファイルの内容の出力は、ブロックシリアル単位に出力される。
		復帰 キー	FUNCTION？ レベルに戻る。

(6) ファイルを有効利用するためのコマンド

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
$RESAVE	␣ファイル名	ファイル名：既に存在するパーマネントファイル	指定されたパーマネントファイルとカレントファイルの内容をセーブする。 サブカタログ下のファイルは、必ずサブカタログも指定する事。

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
問答形式	MEISAI START ENTER KB (CR) OR BATCH?	KBまたは CR キー	出力を端末に向けること指定する。
		BA TCH	出力をBATCH処理で行うことを指定する。
	OUTPUT MEISAI (Y OR N=CR) ?	Y	利用明細書の出力を行う。
		Nまたは CR キー	利用明細書の出力を行わない。
	MEISAI KB.OUT …mm GATSU Y OR N(CR) ?	Y	利用明細書の月(mm)を出力することを指定する。上記の質問でNのとき、この質問はされない。
		Nまたは CR キー	利用明細書の月(mm)を出力しないことを指定する。
	INPUT IDENT (DEMAND=CR, MAIL , RMT,id) ?	DEMAND または CR キー	BATCH処理の出力結果を、デマンドファイルに出力することを指定する。
		MAIL	BATCH処理の出力結果を、センター出力することを指定する。
		RMT,id	BATCH処理の出力結果を、センターに登録されているリモート端局(id)に出力することを指定する。
	INPUT CLASS (E=CR,A,B,C)?	Eまたは CR キー	BATCH処理で行うジョブクラスを指定する。E,A,B,Cと各々1つを指定する。詳しい説明はセンターニュースVoL.12,No.2 1982-8第46号4頁～14頁を参照して下さい。
		A	
		B	
		C	

(10) 二つのファイルを比較するコマンド

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
$FCMP	ファイル名1:ファイル名2	ファイル名1 ファイル名2 } 比較するファイル名	ファイル名1とファイル名2を比較して、各行の違いを表示する。

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
問答形式	PARAMETER(D OR S AND N OR W)?	SN	二つのファイルを比較して、違っている行のみ幅の狭い出力装置（1行80桁）向けに編集して出力する。
		SW	二つのファイルを比較して、違っている行のみ幅の広い出力装置（1行132桁）向けに編集出力する。
		DN	二つのファイルを比較して、全ての行を幅の狭い出力装置向けに編集出力する。
		DW	二つのファイルを比較して、全ての行を幅の広い出力装置向けに編集して出力する。
	LINE NUMBER (ASIS OR STRIP)?	ASIS	各行（レコード）の先頭から80文字が比較される。
		STRIP	各行の先頭の数字（行番号）を除く80文字が比較される。
$FCMPLP	␣ファイル名： ファイル名2	ファイル名1 ファイル名2 } ：比較するファイル名	ファイル名1とファイル名2を比較して、各行の違いをセンターのプリンターへ出力する。
問答形式	PARAMETER(D OR S AND M OR W)?	SN	$FCMPと同一
		SW	
		DN	
		DW	
	LINE NUMBER (ASIS OR STRIP)?	ASIS	$FCMPと同一
		STRIP	
	SEND BY MAIL (YES OR NO)?	NO	ファイル比較した内容をデマンドファイルへ出力する。なお、センターのプリンタへ出力させる時はＩＤカードを使ってプリンターに出力する。
		YES	ファイルに比較した内容はセンターのプリンターに出力後、連絡所に郵送される。

コマンド	パラメーターの形式	パラメーターの意味	機能
問答形式	JOB CLASS (E,A,B,C) ?	E A B C	出力量に応じたジョブクラスを指定する。
$FCMPR	␣ファイル名1： ファイル名2	ファイル名1 ファイル名2 ：比較するファイル名	ファイル名1とファイル名2を比較して、各行の違いをリモート端局へ出力する。
	PARAMETER (D OR S AND OR W) ?	SN	$FCMPコマンドと同一
		SW	
		DN	
		DW	
	LINE NUMBER (ASIS OR STRIP) ?	ASIS	$FCMPコマンドと同一
		STRIP	
	TERMINAL LID INPUT ?	id	ファイル比較した内容は指定された「id」のリモート端局へ出力する。
	JOB CLASS (E,A,B,C) ?	E A B C	$FCMPLPコマンドと同一 ※ $FCMP, $FCMPLP, $FCMPR コマンドの詳しい説明は、センターニュース VoL. 12, No.3、1982-11第47号19頁～24頁までを参照して下さい。